

二十九 商店新築落成式祝詞

掛け巻くも畏き親神天理王命の御前に慎しみ敬い恐み恐みも
白さく

この度 市 区 丁目 番地 号なる〇〇講は

親神の奇しく妙なる御恵みを嬉しみ奉り辱けなみ奉りて 長

の年月に亘るこれのお道の信仰も慚く稔り なお又家族親族

諸人達の真心からなる親心に支えられ 商店としての

家業も日に月に栄ゆく中 今までの店のあり様にてはあらゆる

点にて不都合となりし為 こゝに建築主を 氏と定め

一同相謀り鉄骨 階建 延 平方米となる普請を

工業株式会社の施工のもと 新たに設け奉らんと事始められ

しが 工事順序正しく滞うる事なく彌進みに進みて 今し斯

くの状に事成し終えたるは これ偏に親神の深く厚い手引きと

普請に携われし諸人達の真剣なる努力の賜物なり

こゝを以て今日を生日の足日と新築落成の儀式執り行うと

先ず事の由を告げ奉らくを 御前に御酒御食海川山野の種々

の味物を置き享成して捧げ奉らくを 甘らに安らに聞食し諾い

給いて 今日の竣工を新たな門出として元一日の心にかえり

親神の御教のまに 教祖のひながたを辿りつつ いやよく

一手一つとなりて新たな姿形にふさわしく家業の道に努め勞づ

き はた又この建物の中にて営まれる事務所の仕事の成果を

挙げんものと努め励む心定めなれば 行末の日と月が重なるに

つれ彌繁昌に栄えしめ給い 今日の落成の意義を高からしめ給

えと恐み恐みも乞い祈み奉らくと白す